

鶴雅グループの取組と地域連携

サステナブルな地域を目指して！

鶴雅ホールディングス（株）

代表取締役社長 大西 雅之

まりも家族憲章

2001年策定

～神々の時代から生きづくまりものように～

まりもは地球からの贈り物、まりもはみどりのまあるい形、
平和と調和の表われ。阿寒に住んでいる人も 訪れる人も ふれる人も
自然に抱かれるみんなひとつのまりも家族。
まりものようにまあるく仲良く生きる為に。

第一条 まあるい形は全てを包み込む大きな愛と、命を育む母なる地球
そんな生き方や環境を大切にします 【自然にやさしい】

第二条 深い碧は^{みどり}やすらぎとおちつき
そんな時間と空間を作っていきます【訪れる人にやさしい】

第三条 ビロードの手触りはやさしさと思いやり
そんな人と町を目指します 【住民にやさしい】

「私はまりも。湖に暮らしています。
水があり、空気があり、風が吹く。なんて素晴らしいことでしょう。
こんなあたりまえの事で私達は生きていけるのです。
こんなあたりまえの事が私達に耐える力と、たった1本のまりもから
大きく立派なまりもへと再生する力を与えてくれるのです。
このあたりまえの事に感謝する心を
まりも家族から世界へ伝えていきます。」

2008年

2000年

■ 鶴雅の経営理念

私達は郷土力を磨き、地域と共に成長する百年ブランドを作り上げ、社員が誇りに思い、お客様に愛され、社会から信頼される企業を目指します。

- 宿づくりも町づくりも、生涯かけて皆で取り組む **作品づくり**

(宿づくり → まちづくり → 地域づくり)

- 観光事業＋観光地＋観光エリアはブランドを高め合う **運命共同体**

(町が私達の土台。町のブランドが上がれば、個々も上がる)

阿寒湖温泉の町づくり目標（2004 観光協会とまちづくり協議会の合併）

《アイヌ文化に彩られた国際リゾート》



➤ アイヌ・ブランド化プロジェクト

○ 歴史文化ゾーン整備プロジェクト（東北北海道アイヌ文化の発信基地）

- ・アイヌシアター「イコロ（宝物）」
- ・アイヌアートの町（物作りの復活）
- ・アイヌイオル構想の実現

⇒ パロコロ・プロジェクト
⇒ ロスト・カムイ
⇒ 阿寒アイヌクラフトセンター



➤ 湖と森のブランド化プロジェクト

○ まりも再生プロジェクト

- アウトドア基地化PJ
- ・着地型旅行業

⇒ まりもプレミアムツアー
⇒ ユネスコ世界自然遺産
⇒ カムイ・ルミナ
⇒ アドベンチャーツーリズム



➤ 地域一体型リゾート推進プロジェクト

- スキー場を冬季リゾートの核に
- 安定財源確保
- フォレストガーデンPJ
- ・8万㎡の中心ゾーン開発

⇒ JOC アルペン強化センター
⇒ 新入湯税の町づくり基金
⇒ 地域DMOとDMCの両輪
⇒ フォレストガーデン道の駅

DMCを中心とした中核プロジェクトの推進

世界にアピールする4つの中核プロジェクト

施策1

国立公園初めての試み
夜の森のデジタルアート・ナイトウォーク

施策2

「世界唯一のマリモの自然生息地」の
プレミアム・ツアー & 再生マイマリモ・ツアー

施策3

町全体をアイヌ文化の異空間へ
(阿寒パロコロ・プロジェクト)

施策4

アドベンチャー・ツーリズムの聖地へ
(ATWS認定コース)

施策 1

夜の森のエンターテイメント カムイ・ルミナ

アイヌ神話を基にカムイと人間をとおして自然との共生を問う。森とデジタルアートの融合
2019年7月 スタート



施策2

神秘のマリモを世界にアピールする

「マリモ自然生息地のプレミアム・ガイドツアー」 &
「まりも再生によるMyマリモ・ツアー」

- 特別保護区チュウルイ湾での超プレミアム学習ツアー
- シュリコマベツ湾へのMyマリモの放流とOurマリモのお世話と成長測量
- まりも生息環境圏をユネスコ世界自然遺産へ



施策3

アイヌ文化の見える化で特別な異日常空間

アイヌシアター・イコロ

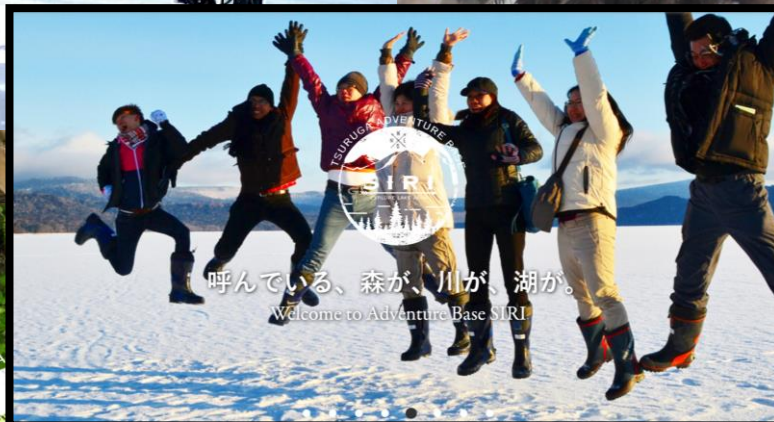
ロスト・カムイ（絶滅したエゾ狼）

阿寒アイヌコンサルシ「ネイチャーガイド事業」



施策4

アドベンチャー・ツーリズムの聖地へ



鶴雅グループの事業展開

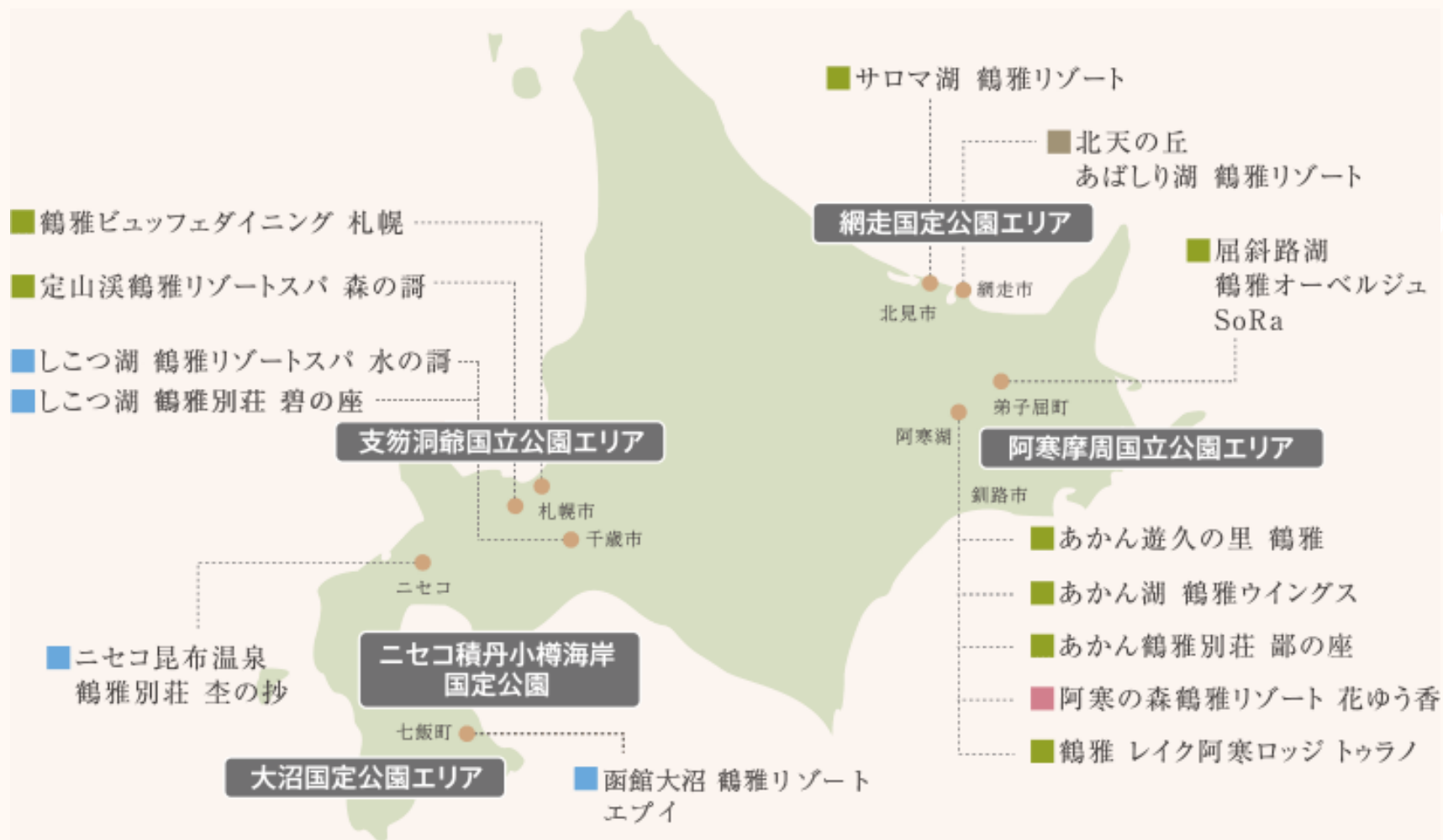
稼働施設 : 14 施設

国立公園：9

国定公園：4 2007年

建設中施設： 3 施設

国立公園：3



8年前の遊久の里鶴雅のCM < 温泉旅館 >



鶴雅の提案する新しい旅

RYOKAN × NEXT



鶴雅の提案する新しい旅

RYOKAN × CULTURE



鶴雅の提案する新しい旅

冬 RYOKAN × ADVENTURE



鶴雅の提案する新しい旅

夏 RYOKAN × ADVENTURE

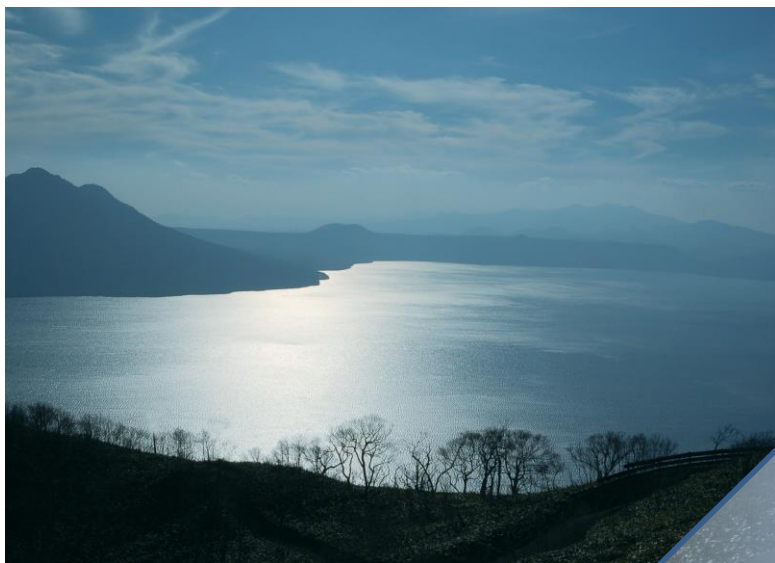


鶴雅の提案する新しい旅

RYOKAN × GASTRONOMY



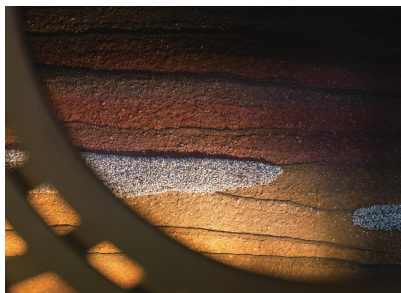
支笏湖 鶴雅別荘「碧の座」(2019年5月オープン)



Guest villas

支笏湖を望むスイート&ヴィラ

「碧の座」は全室レイクビューで、100㎡超のスイートルーム。
鶴雅 グループの中でも最上級となる新感覚の日本旅館です。



悠久の時に思いを馳せる、
祈りの文様

〈積層壁〉

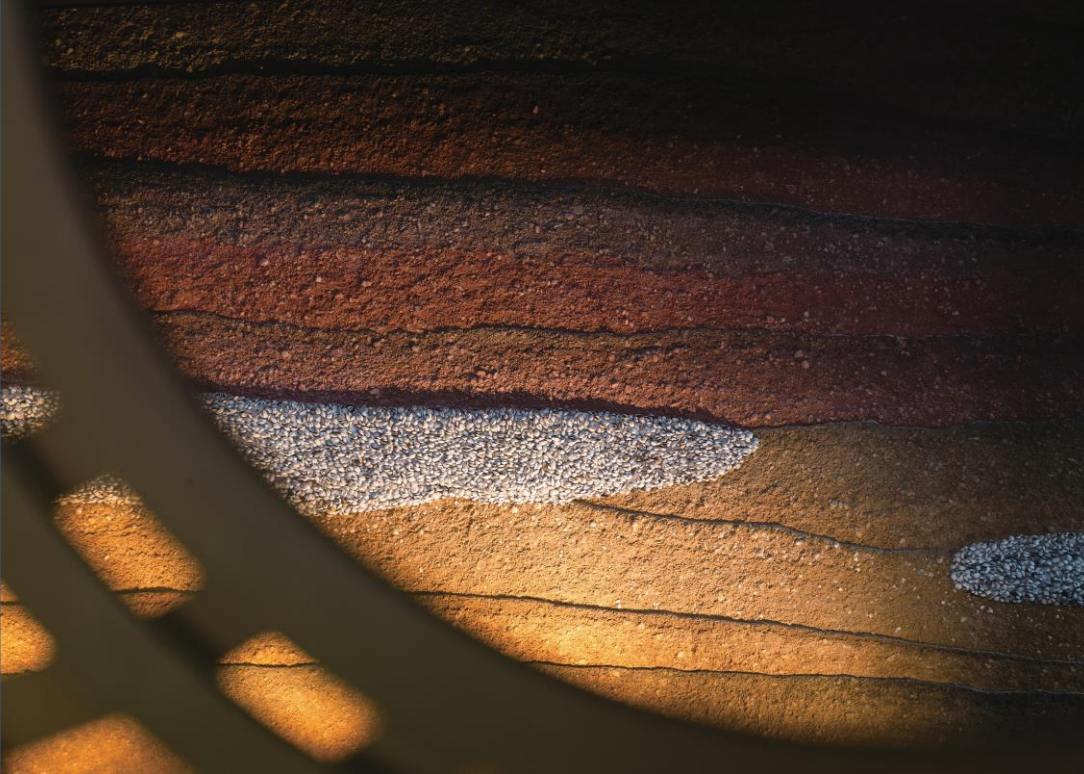
ロビー空間の積層壁は、縄文文化からアイヌ文化まで、
そして現代へとつながる地層の時の流れを象徴しています。地の物語に現代の息吹きを吹き込
れが「碧の座」のテーマです。



〈縄文暖炉〉

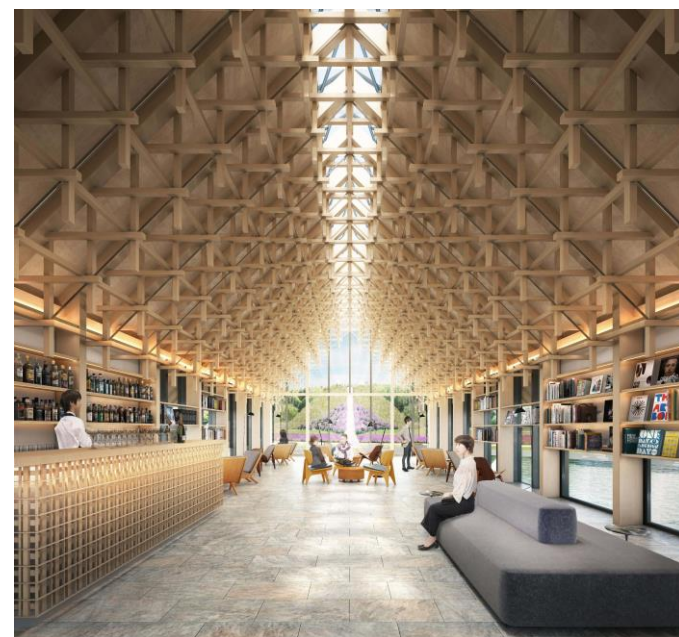
〈藍染工房〉

カルチャーラウンジでは本格的な藍染め体験。藍は最古の染料であり、その色は日本を象徴する色として「ジャパンブルー」とも呼ばれました。



洞爺湖 鶴雅リゾート「洗の謠」

2023年4月オープン予定



池に浮かぶ音楽ホール

Guest villas

洞爺湖と昭和祈山を望む洗の謠 ... ガーデンアート「光への道」が絶景へ誘います

- 16000坪のガーデンに囲まれた
アクティビティ・リゾート
- 洞爺アドベンチャーベース SIRI
- 池に浮かぶ道産木材を駆使した
音楽ホール
- 5種類のコンセプト・ルーム
 - ・ アドベンチャー・ルーム／北海道ルーム／
 - キッズルームなど



館内は北海道のアーティスト達の作品に溢れている

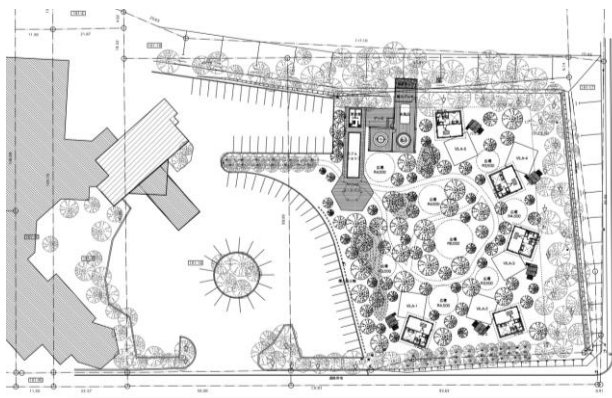


ガーデンアート・光への道

網走湖 北天の丘「オホーツク・イズバ」 2023年8月オープン予定

アクティブな旅人にエールを！

- オホーツクエリアのアクティビティ基地として、網走Adventure・Base SIRI を設置。
阿寒Adventure・Base SIRI と サロマAdventure・Gate と連携する。
- アホーツク人の住居をテーマに、イズバ・ヴィラ + トウリーハウス
- 隣接する網走湖鶴雅リゾートと連携してパブリックやレストランを共有する。



支笏湖温泉のハブ施設「支笏湖 LOOPs」

2024年7月オープン予定

支笏湖ヴィレッジ構想！

- 支笏湖エリア(温泉街とキャンプ場群を一体的に連携し、一つのヴィレッジとして運営。
- 温泉町全体でパブリックを共有する。

仕事もこなす

ワーケーション

基本はどこでも仕事ができるが部屋での作業環境の提供として次のものをあげる。

- ・Wi-Fiの通信速度向上
- ・最低2口のコンセントのデスク環境
- ・ディスプレイの用意
- ・デスク・チェア（鏡なし）
- ・デスクライト・プリンター設置



自然を楽しむ

TSURUGA アドベンチャーベース SIRI

ビギナーからエキスパートまで、誰もが参加できる自然を楽しむアクティビティガイド。物販店も併設。



時間を自由に

滞在プランの充実

時間を自由に思い通りに使いたいと思う旅人は多い。好きな時に仕事をし、好きな時に眠り、好きな時に体を動かし、好きなだけ滞在したい。そんな旅人のために滞在プランを充実させる。



アクティブな旅人に！

- アドベンチャーベースSIRIがハブとなり、地元のガイド会社と連携し、アクティビティ基地となる。
- ルームチャージで家族に優しく。
- 夕食は提供せず、町中の店と屋外&ルームキッチンで。
- 宿泊は二泊以上から。

体を整える

温泉とガーデンサウナ

温浴効果は体を整えるには最適である。支笏湖の美肌の湯とサウナを設ける。サウナは、ハーブのロウリュウとし、プライベート感を大事にしたつくりになっている。庭を眺めるサウナと外気浴で整う。



体を鍛える

館内がアクティブ

館内にはあちこちにアクティブに体を鍛える仕組みがある。長いスロープ、途中でウォーキングマシンやサイクリングマシン、ボルタリングなど。



食事を自由に

カフェとキッチンと予約

宿泊と食事を別プランにする。好きな時間に好きな食事をとることができる。1階には焼きたてのパン、軽食、ドリンクを取り揃えてある。室内での簡単な調理も可能。また鶴雅の施設の料理屋の予約も可能である。



■ 阿寒アドベンチャー・アートギャラリー 2022年4月完成

阿寒アドベンチャートラベルの発信拠点に！ シャノン・ストーウェル CEO よりのメッセージ

鶴雅の試みにワクワクしている。特に、環境や地元の人々への思いが、ここでは彼らのアートワークを通じて表現されています。



阿寒の自然と文化。
それが日本という国を体験する
イントロダクションでした。

私が初めて来日した時は夜で、すでに景色は暗闇に包まれていました。翌朝、太陽に輝く阿寒湖を見た際、その美しさと畏敬の念に圧倒された経験が、私の日本という国のイントロダクションであり、この特別な場所は、いわば私の日本に対する啓蒙けでした。

自然は、この美しい阿寒の基礎であり、前世代にもわたってこの地に住む人々の目を通して見たとき、私の心にもわたつてはありますが、私たちが自身の人生で経験できる最高の身体のおよび感情的な経験のひとつとなります。北海道の人々を認め、アイヌ民族の習慣、食、物、芸術について学ぶことは、北海道を目の当たりにする素晴らしい方法でした。

私は鶴雅の取り組みにワクワクしています。特に環境や地元の人々の思いが、ここでは彼らのアートワークを通して表現されています。このギャラリーの作品がアイヌ民族、地域の北海道の住民または国内外のアーティストからのものであるかにかかわらず、それらが阿寒湖の美しいシナリオに展示されているのです。私はこのギャラリーが、これを誇りあなたにインスピレーションを与えてくれるものと確信しています。



アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション CEO
シャノン・ストーウェル

ATTA CEO
Shannon Stowell

■ まりも足湯「ウレカリプ」 2022年4月完成

地域貢献事業として、旧まりも湯跡地を足湯広場に！
まりも横町(食の集積ゾーン)を核に、マリモの里商店街の再生



ご清聴
ありがとうございました

